

国語科単元構想シート

第6学年 組() 名) 授業者

単元名 「繋がれ! A小っ子! ~コロナ禍でも楽しめる遊びを計画しよう~」 全7時間

教材名 「みんなで楽しく過ごすために」(光村図書6年)

単元目標 (単元で育成を目指す 資質・能力)	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。 [知識及び技能](1)ア
	◎互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。 [思考力、判断力、表現力等] A(1)オ
◎…指導の重点	○言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 ((1)ア)	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたり、まとめたりしている。 (A(1)オ)	積極的に考えを広げたり、まとめたりし、学習課題に沿って、目的や条件に応じて計画的に話し合おうとしている。

単元で取り上げる言語活動
コロナ禍でも楽しめる異学年交流の企画について、互いの立場を明確にしながらか計画的に話し合う。

単元の流れ	「読み解く力」の視点を踏まえた、児童の学ぶ姿		指導の手立て	
★「主体的に学習に取り組む態度」を評価する時間	「読み解く力」の視点を踏まえた、児童の学ぶ姿		「個別最適な学び」【個】・「協働的な学び」【協】	
①学習のゴールを共有し、学習の見通しをもつ。 ②話し合いの目的や条件を基に、話し合いの進行計画を立てる。 ③グループで話し合うために、自分の主張とその理由や根拠が明確になるように整理する。 ④それぞれの考えの相違点や問題点、改善点などを明らかにし、仮の結論を出す。★ ⑤⑥仮の結論で決まった遊びを試し、さらなる改善点を見つけ、話し合い、最適解を導き出す。 ⑦話し合った結果や感想、工夫点などを報告し、学習を振り返る。	A 主に文章や図、グラフから読み解き理解する力	必要な情報を確かに取り出す【①発見・蓄積】 目的や意図に応じて、課題意識を明確にしている。自分の主張・理由、根拠を図や表などで整理している。	B 主に他者とのやりとりから読み解き理解する力	
		仮の結論を出すために、自分の主張と友達の主張を比較し、相違点や問題点、改善点を明らかにしている。		仮の結論を出すために、自分の主張と友達の主張を比較し、相違点や問題点、改善点について話し合っている。
		情報を比較し、関連付けて整理する【②分析・整理】		仮の結論を出すために、自分の主張と友達の主張を比較し、相違点や問題点、改善点について話し合っている。
		自分なりに解決し、知識を再構築する【③再構築】		仮の結論と、実際の活動で見つけた課題を結び付け、具体的な解決策を話し合っって最適解を導き出している。
		仮の結論を基に、実際に活動して見つけた課題について、原因を明らかにし、よりよい最適解を導き出せるように話し合っている。	・自分たちの力で解決したり、実施したりできる課題を取り上げ、学習意欲を高める。【個】 ・内容面で目的を達成すること、話し合うことで資質・能力を高めていくことの両面から捉えられるようにする。【協】 ・教科書P133「進め方の例」を参考に、既習の内容を生かして、「考えを広げる話し合い」と「考えをまとめる話し合い」を意識して計画できるようにする。【協】 ・目的や条件を確かめ、P134「考えをノートに書き出した例」やP254「考えを図で表そう」を参考にして整理するよう促す。【個】 ・話し合うことの優先順位や時間を意識し、考えを広げたりまとめたりできるようにする。【協】 ・話し合った内容に応じて、特別活動等と連携したり、試行できる場を用意したりする。【協】 ・話し合いの記録や振り返りを読み返して、身に付いた力やこれから気を付けていきたいことを出し合い、今後に生かす意欲をもてるようにする。【個】	